



# Financial Highlights 2021

for the year ended 20th February 2021

## 2020 年度決算概要

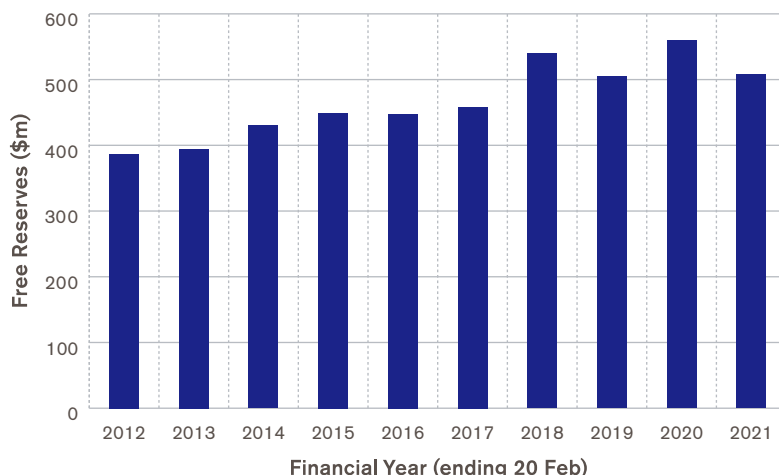
UK P&I CLUB  
IS MANAGED  
BY **THOMAS  
MILLER**



# 主要財務データ

## 自由準備金

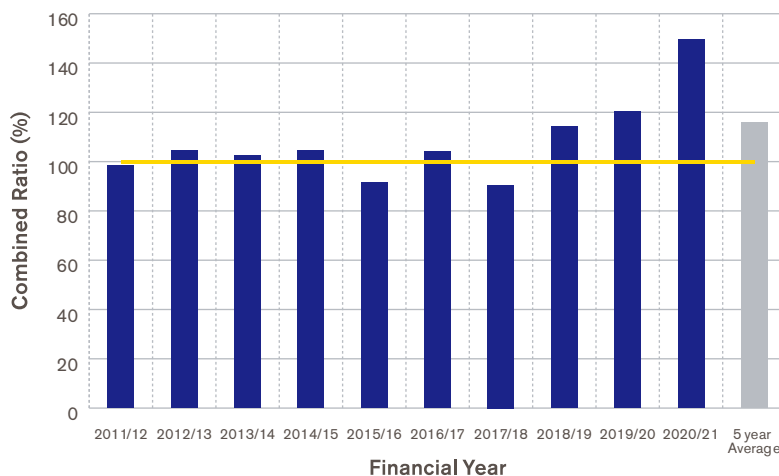
COVID-19 感染拡大による船客クレームの増大と、特に高額なプール・クレームの影響により、昨年増加した自由準備金は、今年は 5 億 700 万ドルとなった。



## コンバインド・レシオ

2011～2020 会計年度のコンバインド・レシオ (Mutual Premium Discount を除く)

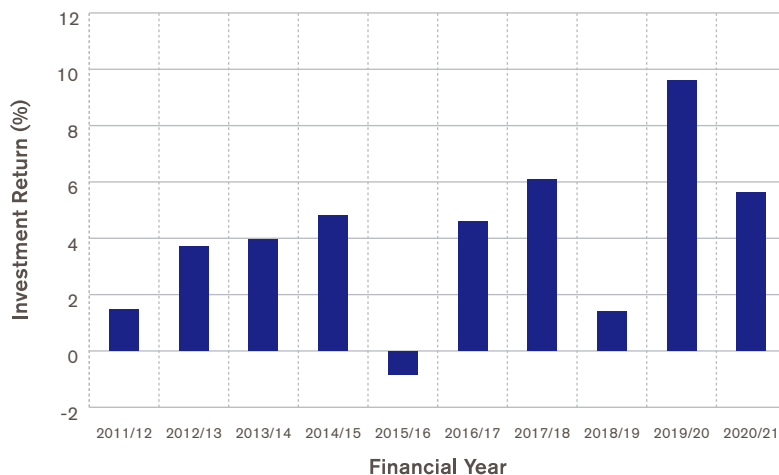
Covid-19 感染拡大や高額プール・クレームなど一過性の要因により、コンバインド・レシオは 149.6%に上昇。これら要因を除けば、コンバインド・レシオはほぼ前年並みで、当クラブの許容範囲内。



## 投資利益

投資利益 (2011～2020 会計年度)

2020/21 年は、COVID-19 の感染拡大後に金融市場が大幅に落ち込み、その後急速かつ完全に回復するという不安定な動きを見せた。当年度は利益率 5.6% の力強いリターンで終了。

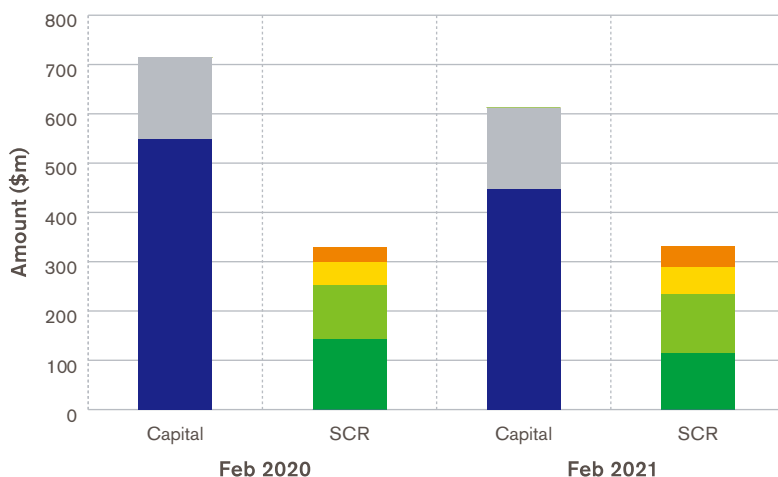


# 主要財務データ

## 自己資本

### グループ全体の自己資本

自己資本要件はすべて満たしており、S&Pの格付けはAを維持。



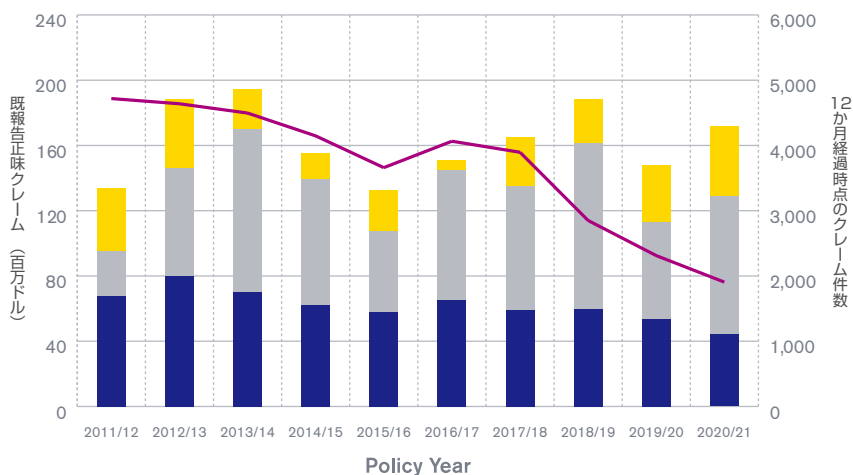
## クレームの規模および件数

### クレームの規模および件数別に見た 2011～2020 保険年度 12ヶ月経過時点の既報告正味クレーム

クレーム件数が減少し続ける中、50万ドルを超える大型クレームの件数と影響度が増し、クラブのクレーム全体を押し上げている。

Covid-19 関連クレームを含み、2020/21年の大型クレームの成績は悪化。

国際グループ (IG) プールは、歴史上最も高額な年となった (再保険控除後正味)。

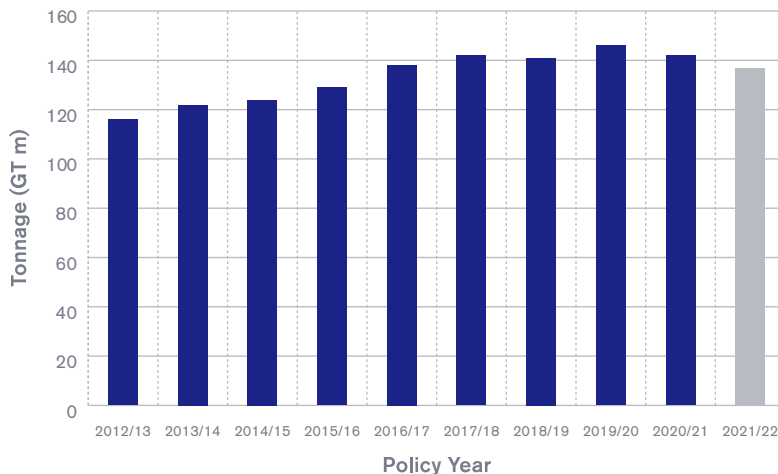


年度別件数は線グラフで表示  
総クレームコストと規模別の内訳は棒グラフで表示

## 年度別の加入トン数

### 2012～2021 保険年度

当クラブがIG プールに報告した加入トン数は近年概ね安定。P & I 保険マーケットにおける保険料率が低下しているため、当クラブはアンダーライティングの規律を重視している。



# 理事長 表明

前回のレポートで、当クラブが COVID-19 の発生につつがなく対応したことを述べました。当時、COVID-19 の感染がこれほど世界中のすべての人、家族、企業活動にまで影響を及ぼすことを予測できた人は、ほとんどいなかったでしょう。昨年世界的な制約や厳しい市況で、貿易活動は激しく制限され、海運業界にとっては、とりわけ試練の年でした。

しかしながら、全体的に、海運業界は厳しい環境でもかなりの回復力を示しました。私たちは、特に乗組員の努力を誇りに思います。彼らの多くは、渡航規制により、長期間、交代下船または乗船できなかったからです。

私はまた、当クラブが、世界各国の都市が封鎖された際に、しっかりと対応できたことを誇りに思います。当クラブはメンバーに、これまでと変わらない、高品質でプロフェッショナルなサービスを提供し続けています。COVID-19 感染拡大の直接的な影響の1つに、世界の主要な金融市場全体での前例のない資産価値の低下がありましたが、年が進むにつれて市場は力強く回復し、当クラブは約 6,000 万ドルの堅固な投資収益をあげることができました。当クラブの投資委員会がオンラインでの意見交換を続け、市場の監視を行ったおかげです。

投資収益は、その年のクラブのアンダーライティングの赤字を相殺します。私が昨年のレポートで指摘したのは、市場全体での保険料率はクレームコストをカバーするのにもはや十分とは言えず、その結果、保険料率を引き上げる必要があるということでした。前回の契約更改時に 10% の保険料率のジェネラル・インクリースを行ったのは、この赤字を補填するためでした。これにより、収益は大幅に改善されましたが、アンダーライティングの赤字を補填するためには、今後さらに保険料率の引き上げを考慮する必要があります。

昨年、Covid-19 を直接原因とするクレームは 2,500 万ドルを超えたことで、保険料率が不十分であることが露呈しました。このことは、一部セクターが輸送ビジネスを中断したための短期的な保険料減額と相まって、当クラブに一時的であるとはいえ、重大な影響を及ぼしました。

当年度上半期には、P & I クラブ間で非常に高額なクレームのリスクシェアをする、国際グループ (IG) プールは並外れて活発でした。近年、大型クレームの平均コストが増加しており、クラブ全体の業績を圧迫しています。クレーム件数は当年度下半期には減少しましたが、全体的なコストは依然として過去最高です。

Covid-19 の感染拡大と高額プール・クレームの影響により、当クラブのコンバインド・レシオは 149.6% に上昇しました。これは一時的な事象なので、コンバインド・レシオは、来年度は大幅に改善するものと予想されますが、当クラブの強力な資本基盤を維持することがいかに重要であるかを示しています。5 億ドルを超える当クラブの自由準備金は、業界内でも最高水準であり、S & P キャピタルモデルでは最高ランクの AAA を維持しています。

強固な資本基盤は最高のサービスの提供とともに、表明されたクラブ全体の目標の土台です。前回の契約更改時に証明されたとおり、当クラブに対するメンバーの信頼と支持は、非常に強い状態を維持しています。競争の激しい市場において、全メンバーの 98% が保険契約を更新するという事実は、メンバーと当クラブの長期にわたるパートナーシップの強さを示しています。

重大事故が発生した場合、緊密なパートナーシップが不可欠です。スエズ運河での Ever Given の座礁は、最近起こった重大な事故です。幸運にも負傷者はいなかったものの、この事故は現代における世界的な海運の重要性をはっきりと浮き彫りにしました。当クラブは、Ever Given の船主の第三者賠償責任リスクを引き受けています。最高品質のサービスとサポートをお届けするため、たゆまぬ努力を続けている当クラブのクレームチームに感謝します。

私が理事長としての役割を全うできているのは、当クラブに関わる多くの人々の支援と貢献のおかげです。この場をお借りして、副理事長の Wan Hai Lines の R. Chen 氏、Reederei F. Laeisz の N. Schues 氏、そして GasLog の P. Wogan 氏に御礼を申し上げます。昨年 1 年間、当クラブ内のあらゆる問題解決に際し、彼らのサポートは非常に貴重なものでした。

メンバー委員会は、この年もオンラインで会合を継続しました。新たにメンバー委員会の委員となった、Kirby Corporation (ヒューストン) の D. Grzebinski 氏、Diana Shipping SA (アテネ) の S.Paliou 氏、Tankerska Plovidba dd (ザダル) の M.Pavic 氏、China COSCO Shipping Corporation Limited (上海) の Tao Weidong 氏、Petrobras Transporte S/A - Transpetro (リオデジャネイロ) の J.Toledo de Souza 氏を歓迎いたします。昨年退任された、Kuwait Oil Tanker Co SAK (クウェート) の Ali Shehab 氏、OAO Sovcomflot の E.Ambrosov 氏、China Ocean Shipping (Group) Co の Sun Jiakang 氏、GasLog の P.Wogan 氏に御礼を申し上げます。メンバー委員会は、相互組合としての仕事にとっても、そしてメンバーとのパートナーシップのもとで協力して働くという私たちの公約にとっても、不可欠な存在です。

将来を見据え、私たちの業界には解決すべき多くの課題が存在します。燃料の脱炭素化のための解決策を見つけ実行すること、また船舶の安全性向上のためにさらなる改善が必要です。昨年を経験を通し、私たちは業界全体で新たな課題に立ち向かい、将来に向けしっかりと足取りで歩んでいることを示しました。当クラブの目標は、緊密な協力と優れたサービスの精神を通じて、メンバーと強力なパートナーシップを築き、支援することです。当クラブの使命は、メンバーの安全とロスプリベンションをはじめ、契約上の問題や技術的な諸問題についてもアドバイスを提供する、良きビジネスパートナーであることです。問題が発生したとき、メンバーとともにあることが最も重要なことです。

当クラブは、今後も引き続き改善に努め、メンバーとブローカーの皆様が何を望んでいるかを知り、どのようにパートナーシップを築くかを考え、皆様をサポートしてまいります。予防接種が世界中で進んでいるので、私は、昨年から制限されていた私生活やクラブとの関係に不可欠な対面会議を含むビジネスの活動が間もなく再開できると期待しています。

最後に、当クラブ管理者およびメンバーのために働く世界中のすべてのスタッフに感謝したいと思います。どんな状況であってもメンバーを支援するスタッフの能力と意欲は、当クラブの最も重要な価値ある特徴のひとつであり続けています。

**ニコラス・イングリシス**  
理事長



